



おおさわ ひろこ  
大澤 弘子

地域福祉計画について

Q 社会福祉法改正に伴う町の取組は。

A (課長) 地域福祉計画を策定し、重層的な支援体制の構築に向けた取組を研究していく。

Q 生活困窮者自立支援の具体的な取組は。

A (課長) 西多摩福祉事務所との連携、及び社会福祉協議会での支援体制の構築をしている。

Q セーフティネットの充実として、自殺防止の取組は。

A (課長) 命を支える日の出町自殺対策計画を策定しており、ゲートキーパーの育成等、充実を図りたい。

日の出町障害者計画について

Q 町内の事業主に対する障がい者雇用の理解促進の取組について。

A (課長) 障がい者就労・生活支援センター「あるって」にて、コーディネーターを通じた啓発、各種助成金制度の説明を行っている。



Q 地域生活支援拠点の整備について。

A (課長) 町直営での運用は困難なため、今後のあり方を検討していく。

Q 障害者計画の策定について。

A (課長) 町自ら委員を委嘱するほうがよいという指摘を受けたため、要綱に沿って委嘱している。今後パブリックコメントなどを検討している。

Q デイルームたんぼの閉鎖について。

A (課長) サンホームの建替えに伴う廃止である。



しもむかい たつのり  
下向 辰法

福祉単独施策見直しについて町民説明会の開催を求める

Q 町長自ら、各自治会において、丁寧な説明会をするべきだと思いが、考えは。

A (町長) 町としては実施に至るまでの期間を利用し、「広報誌等による周知・案内に加え、現制度の申請のために来庁する町民一人ひとりに直接丁寧な説明・案内する」という姿勢を理解してもらっている」と認識している。

Q 令和6年単独年における削減目標額とその内訳について。

A (課長) 日の出町行政改革(その5)で示している。目標額は2億9,313万8千円。内訳は、子育て支援施策の見直しで1億5,394万3千円、高齢者支援施策の見直しで、1億3,919万5千円となる。

当町におけるPFAS(有機フッ素化合物)について

Q 東京都環境局の水質調査では、井戸水は町を4分割して検査すると聞いているが、当町として独自の水質調査の予定はあるのか。

A (課長) 町としてPFASの独自調査の実施については、暫定指針値を超える、もしくはそれに近い結果となれば、東京都に相談のうえ検討する。

太平洋セメント採石跡地の残土について

Q 横田基地の残土の埋め立てがあったがその総量、またPFASなどが流れ出す懸念もあることから当町として独自の調査の予定は。

A (課長) 横田基地からの残土の埋め立てがあったが、その総量は、令和2年5月から令和5年2月までに4,097m<sup>3</sup>だった。独自調査の実施については、暫定指針値を超える、もしくはそれに近い結果となれば、東京都に相談のうえ検討する。